



# 豊岡市立歴史博物館 ニュース

—但馬国府・国分寺館—

2017.3 第48号

豊岡市立歴史博物館  
—但馬国府・国分寺館—

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祇布 808  
TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112  
http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/



翠筠萬竿 明治3年(1870)65歳

## 第40回企画展 齋藤崎庵の軌跡 —城崎が生んだ幕末～明治の南画家—

崎庵は城崎の旅館「伊勢屋」に生まれ、江戸時代後半から明治時代にかけて活躍した日本画家です。学を好み、詩を読み、全国を旅して南画を極めました。幼少より耳と片足に障害があり、南画に描かれる仙人のように杖をもって歩いたといわれます。

崎庵の生涯については明確な文献資料が少なく、謎の多い人物です。今回の展示では彼の残した作品群を年代順にご覧いただくことにより、その足跡をたどります。

■ 会期 平成29年3月24日(金)～6月27日(火)  
(5/3〔水〕は開館し、5/8〔月〕は休館します)



伝 崎庵肖像画

## ● 幼少期

斎藤崎庵は文化2年(1805)に城崎で生まれました。実家の家業は城崎の伊勢屋という温泉旅館でしたが、晩年の子のため旅館の経営は年の離れた姉が養子を迎え受け継ぐこととなりました。崎庵の幼名は小太郎、のち文之助、成人後は淳、字は仲醇と名乗りました。画号は崎庵、又は息軒老人と称しました。

彼の残した作品群はいわゆる南画と呼ばれる分野です。南画は中国の南宗画の影響を受けながら、独自の様式を追求した日本画の一種で、江戸時代後半に最盛期を迎えます。

江戸時代、社寺への参詣や湯治などの目的があれば庶民にも旅行が許され、城崎温泉にも多くの湯治客が訪れるようになります。多くの文人墨客が城崎を訪れたことも知られており、彼の生まれた旅館でも、客をもてなす部屋には、書や絵画が飾られていたことでしょう。このような環境で育った崎庵は学問・詩文・作画を好み、やがて彼は画家を目指すようになりました。

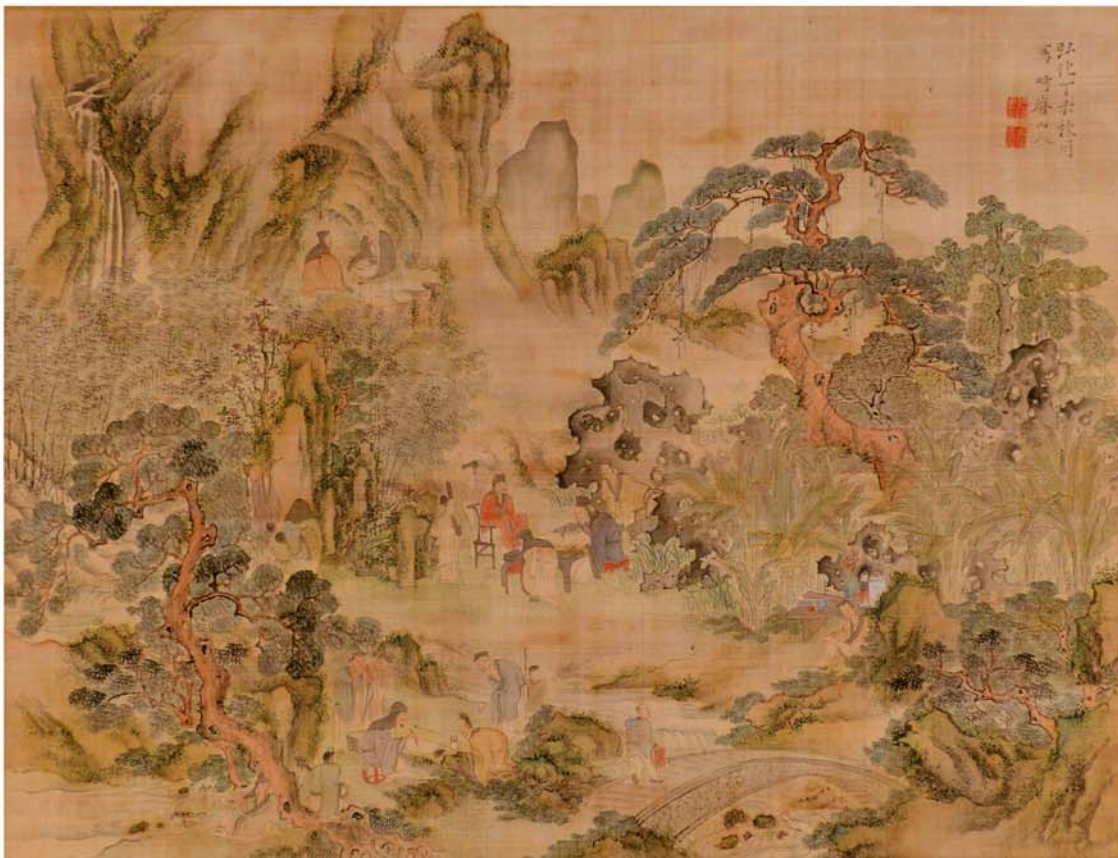
## ● 青年期・壮年期

当時、名古屋や京都で活躍していた南画界の重鎮、中林竹洞<sup>ちくとう</sup>の影響を受けたため、若年の作は竹洞風のものが多くあります。竹洞の門下に入ったとの説もありますが、今回は確認できませんでした。

40歳ごろからは、各地の景勝・奇勝の山河を求めて和歌山・香川・神戸・姫路などを巡り、旅の途中で描かれた作品が増えます。作品も、崎庵の個性が表れた画風へと変化していきます。その後も頻繁に旅に出たようで日田(熊本)、長崎などにも赴いたようです。



暗香籠月 天保10年(1839)34歳



西園雅集図 弘化4年(1847)42歳



松鶴牡丹 明治3年(1870) 65歳



溪山雪霽 明治4年(1871) 66歳



山水扇子 安政5年(1858) 53歳



蘭 文久2年(1862) 57歳

## ● 老年期

70代に入り、崎庵は東京の駿河台に住むようになりました。75歳になって東京に向かったとする説もありましたが、近年の研究により、71歳ごろから東京近郊を題材にした作品が多くあることから、この頃には東京に住まいを移していたと考えられます。

明治初頭の不安定な情勢も落ち着き、東京は文化人たちが集う街となっていました。かねてより漢学者や詩人との交際を深めていた彼にとって、充実した時間が過ごせたのか、この時期の作品には見るべきものが多くあります。

明治16年(1883)、崎庵は山梨県での旅の途中、78歳で没しました。

## ● おわりに

崎庵の作品は、ち密な筆致で描かれています。また彼の作品の賛にみられる漢詩からは、博学ぶりが読み取れ、漢学者や詩人との交際を深めていたことをうかがわせます。

終生、名誉や利益に左右されない風流人として過ごした崎庵。生前にその功績が広く認められなかったことは残念ですが、この展示を機に、郷土の偉人・斎藤崎庵をより多くの方に知っていただければ幸いです。



花溪新霽 元治元年(1864) 59歳



清聲ノ溪 明治15年(1882) 77歳

## ● お知らせ

### ■第30回ミニ企画展「お菓子の歴史ものがたり」

豊岡市三宅にある中嶋神社は、お菓子の神様 たじまのりのみこと 田道間守命をまつる神社。毎年4月の第3日曜には、例大祭として「菓子祭」がおこなわれ、全国の菓子業者が商売繁盛の祈願に訪れています。

今年は三重県伊勢市で4年ぶりに全国菓子大博覧会が開催されるなど、人々の関心が高まる今、日本のお菓子の歴史を振り返ります。

会期：平成29年4月13日(木)～7月11日(火)

### ■歴史博物館友の会 会員募集！

オトクな特典がいっぱいです。ぜひ、ご入会ください。

年会費：1,000円(年間パスポート代)

特典：入館料免除、招待券進呈、研修旅行への参加、ミュージアムグッズ割引販売など

申込み：①博物館で直接、②郵便局の払込取扱票でお振込み(詳細はホームページをご覧ください)

## ● 豊岡市立歴史博物館のご利用案内

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 水曜日  
(5/3[水]は開館し、5/8[月]は休館します)

■入館料 一般 500(400)円  
高校生 200(150)円  
小中学生 150(100)円  
\*( )は20名様以上の団体料金  
\* 県内小中学生は無料(ココロカードを提示してください)  
\* 65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は半額

■最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>

■facebook ページ公開中！

<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>



豊岡市立歴史博物館  
Toyooka City History Museum: Tajima Kokufu and Kokubanj Hall  
但馬国府・国分寺館

